



2017年11月29日

クラウドファンディングの支援目標額が達成しました。

みなさま、ありがとうございます。

キャンパスの会にたくさんの方から温かいご寄附をいただきました。みなさまからの心からの浄財は、『キャンパスの会はながしま』に通所されている重症心身障がいの子供達の機能訓練や日常訓練の器具としてクッションやマットを購入させていただきます。本来なら、お一人おひとりにお会いしてお礼を申し上げるところですが、匿名の方などもおられ、このようなHPでのお礼となりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

▶ [詳しくはこちら](#)



横浜医療福祉センター-江南 根津敦夫Dr.



歯科医師の清山美恵先生

2017年11月18日

第4回「輝け みんなのいのち」のセミナーが終了いたしました。

11月18日、第4回「輝けみんなのいのち」のセミナーが無事終了いたしました。今回は医療・福祉の先進的な役割を担って活動されている横浜医療福祉センター港南の根津敦夫Dr.、宮崎県内で障がい児(者)の口腔ケアに従事されておられる歯科医師の清山美恵医師に講演していただきました。根津Dr.は横浜で取り組んでいる医療・福祉の在宅支援、障害児(者)を取り巻く環境についてお話しをいただきました。寿命が延びた分だけ重い疾病を抱える時代で、医師として苦しい場面にも直面するときも『笑顔』で、待っているだけでは支援できない、法律(制度)は後からついてくると話すドクターに、医療に支えられた生活の場の必要性を強く感じる講話でした。清山先生は、「食べることは生きること」「食の発達は人の発達」と話され、口腔ケアを通して、子供だけでなく年齢を重ねて行く私たちにも早速、実践しなければならない大切なお話しでした。特別ゲストとして「もみじの家」のハウスマネージャー内多さんに「もみじの家」の取り組みについてお話しいただきました。「ずっと会いたいと思っていた」というお母さん、「もみじの家」を宮崎にと言うお母さん。「宮崎では『したい事・良い事』ができる事に繋がらないのが残念に思う」と施設関係者からの声等々、たくさんの声をいただきました。みなさんも、とても感動されたセミナーでした。

▶ [詳しくはこちら](#)



パンダハウスにてスタッフのみなさまと(福島県・福島市)



ばおぼぶさんにて子どもたちと(北海道・札幌市西区)

2017年11月13-15日

施設訪問～ばおぼぶさんとパンダハウスへいきました～

こんにちはYoko Bossです。この度、北海道にある重症心身障がい児施設のばおぼぶさんと、福島県のパンダハウスさんへ、ご訪問させていただきました。南から北へいくので、天気予報を確認し、しっかり着こんでいざ出発。ばおぼぶさんは、重症心身障がい児の放デイ(放課後等デイサービス)を運営しています。私が訪問したときは、ちょうど子ども達が学校から帰ってきた頃でした。2時間ほど子ども達と一緒にゲームをさせていただきましたが、ゆっくりとした、居心地のいい時間の中、スタッフのみなさまもめいっぱい遊んでいて、子ども達もとても嬉しそうにしていました。北海道からの翌日は、福島にあるパンダハウスさんへご訪問。パンダハウスさんのこれまでの成り立ちと現在の状況、今後取り組んでいこうとしていること、たくさんお話を聞かせていただきました。これから宮崎と福島で情報交換をしながら重症心身障がい児の為に取り組んでいこうと約束をし、宮崎へ。限られた時間の中でしたが、今後の糧となる貴重なお話や体験をありがとうございました！



「お弁当のまるよし」で高齢者用の弁当について説明



「なみき」で二日間の振り返り

2017年11月9-10日

ヤマト福祉財団お弁当塾in宮崎

こんにちはYoko Bossです。今回、ヤマト福祉財団が主催する『第2期弁当・配食サービス塾（通称:楠元塾）』を行いました。2期生10事業所と、卒業生の1期生3事業所の参加で、賑やかに、そして真剣に取り組みました。1日目は、宮崎市内のAZMレストランで昼食を食べ、都城まで車で1時間かけて移動。大量調理や真空調理の現場を見学しました。説明する側も、聞く側も、質問もとても多く、やる気満々でした。夕食は真空調理した料理の試食会。2日目は、7時半から高齢者給食と弁当宅配を行っている、お弁当のまるよしを見学。卒業生の1期生6名も塾に参加したことで、先輩としてかなり突っ込んだ質問や、2期生への的確なアドバイスなど、有意義な研修会でした。2期生のみなさんには、1期生の先輩が眩しく輝いて見えたのではないのでしょうか。きっと2年後には自信をもってお弁当宅配や大量調理などについて、話せる側に立っていると思います。一緒に工賃向上のゴールに向かい頑張りましょう。



2017年10月30日

クラウドファンディング始めました！

この度、ReadyFor様の御協力を得て、クラウドファンディングを始めました！「キャンパスの会はながしま」にて、リハビリテーションをする際に必要なクッションやベッド購入のための費用を御協力いただければと思います。目標金額は50万円。「キャンパスの会はながしま」では、まだまだ足りないアイテムがたくさんあります。御礼には、キャンパスの会の就労継続支援事業で作った、宮崎県産の干し芋やスープなどを、ご寄付いただいたみなさまにお届けします！是非、下記のサイトからチェックしてください！

▶ [詳しくはこちら](#)



2017年10月27日

ヤマエ食品工業×栗山ノーサン×キャンパスの会

こんにちはYokoBossです。現在進行中のプロジェクト。地元、都城のヤマエ食品工業、栗山ノーサンと共同開発中の商品があります。寒くなるこれからの季節に、とっても食べたくなるもの。それは「おでん」です。ヤマエ食品工業の絶品おだし、栗山ノーサンのコラーゲンたっぷりの豚軟骨。そして、キャンパスの会からは、利用者さんで頑張ってカットしたり、加工してくれたお野菜。豚軟骨もお野菜も、しっかりとおだしが染みていてとっても美味しいです。自信をもってお勧めできるおでんになりました。店頭に並ぶのはもう少し先です。お楽しみに！



元・西別府病院看護部長 平木和子氏

2017年10月14日

第3回「輝け みんなのいのち」無事に終了いたしました。

10月14日に、第3回「輝け みんなのいのち」が無事に終了いたしました。今回もたくさんのお客様に来ていただき、大盛況となりました。谷田貝氏には人材をどのように確保していくか、平木氏には看護師の視点から、重症心身障がい児（者）との関わり方について講演していただきました。パネルディスカッションでは、「看護師が足りていない」という現場からの声。看護師は、どこも不足しているのが現状みたいです。キャンパスの会でも、看護師を必要としています。宮崎県内外の看護師の皆さま、私たちに御協力お願いします！次回は11月18日（土）にシーガイアコンベンションセンターにて開催されます。お申込みの上、みなさま是非ご参加ください。

▶ [詳しくはこちら](#)



ご案内くださった職員の内多勝康さん(写真左)

2017年10月3日

国立成育医療研究センター「もみじの家」を見学しました

こんにちはYokoBossです。以前から訪問したいと思っていた、世田谷にある「もみじの家」に行ってきた。ここは重い病気を持つ子どもの、医療と福祉の制度を融合させた医療型短期入所施設です。見学してみると、思った以上に細かいところへの気配りや配慮がなされて、『なるほど』と思うところが多く、勉強させていただきました。また、職員の元NHKアナウンサー・内多勝康さんのご案内くださり、気さくなお人柄にも接して楽しくお話しできました。一緒に見学したみなさんは、志を同じくしていることもあり、以前からおつきあいをしていたように話が弾み、互いの事業所を訪問しようということになりました。ありがとうございました。



徐重仁氏(右から2番目)と奥様(右)

2017年9月22日

台湾訪問～2日目の夕食には～

夕方には、本日見学させていただいた財団法人育成福祉基金を設立した、徐重仁氏とお会いしました。徐重仁氏は台湾の流通王とも呼ばれ、日本のさまざまな企業を台湾に取り入れたお方です。実際、お会いしている時にも、徐氏のファンと思われる方が写真を求めています。「念ずれば花開く」という精神のもと、さまざまな事業に取り組み、社会貢献として台湾の福祉にも取り組まれています。とても楽しい時間を過ごさせていただけたこと、感謝です。



家長会弘愛服務センターで利用者さん達と

2017年9月22日

台湾訪問～2日目～

2日目は台北市内の障がい者施設を4カ所見学させていただきました。みなさん試行錯誤、さまざまな取り組みをされて、バスに乗ってお出かけをしたり、レストランで食事をしたり、地域との交流もしっかりされています。見学の合間に、台湾の就労支援事業所が運営しているレストランでランチミーティング。清潔で、大きな店舗の中に、とても美味しそうな料理がたくさん並び、台湾の特産品（オーガニック）のお菓子などの加工食品を手広く販売されていました。でも、就労支援という点に関しては、まだまだ課題が多いな、と感じました。台湾は寄付の文化があり、そこで補っている点もありますが、自分たちで働き、しっかり収入を得る方法を確立する、これも支援者として大事な要素です。何かいい方法がないか、私も考えていきたいです。



Tsai氏(右奥)のオフィスで、「キャンパスの会」の就労支援をお伝えしました。

2017年9月21日

台湾訪問～1日目～

こんにちはYokoBossです。今回はYokoBossの名付け親でもある、台湾へ行ってまいりました。今回は昨年のセミナーに続き、2回目のセミナーと障がい者施設の見学です。1日目は、台湾国会議員のTsai氏のオフィスへ訪問。Tsai氏は、今年5月末にキャンパスの会の就労支援施設を見学されました。「次は台湾で就労支援の取り組みを話し合いましょう」という約束の実行です。今回は、私から日本の障がい者就労支援事業の現状、そしてノウハウをお伝えしました。限られた時間の中、とても熱心に話を聞いて下さるTsai氏。こちらも熱が入り、気が付くとあっという間の2時間。まだまだ時間が足りないくらいです。通訳のマギー氏も、私の話す速さに負けず、しっかりと通訳してくれました。Tsai氏の事務所は女性オンリー。とてもパワフルで、沢山エネルギーをもらってきました。次は日本で会えること、楽しみにしています！



2017年9月8-9日

公益財団法人ヤマト福祉財団「夢へのかけ橋」実践塾 第2期弁当・配食サービス塾が始まりました！

こんにちはYokoBOSSです。ヤマト福祉財団による実践塾第2期弁当・配食サービス塾開始!! 2期生もまた、1期生に負けない熱量で、みなさんとても熱心に講義を受けていました。日本全国、さまざまな事業所を代表する塾生が集まり、これから2年間、みなさまと一緒に講義を進めて参ります。目標はお弁当の売り上げアップ!! 働く方の工賃と幸せを高められるよう、みさん一緒に頑張っていきましょう！



左から2番目がYokoBOSS、3番目が自見はなこ参議院議員

2017年8月23日

東京行脚紀行

こんにちはYokoBOSSです。先日、東京へ行って参りました。8月23日のことです。ちょうど長い雨が続けていた時でしたが、私たちが東京へ行くと、雲一つない快晴!暑くてびっくりでした。さて、何しに東京へ行ったかという、「第1回輝けみんなのいのち」を無事終えて、進捗状況をお世話になっている日本財団のご担当者様にお伝えに行きました。その後、2度に渡り講師をしていただき、自見先生の事務所へご挨拶に。日本財団からも、自見先生からも、温かいエールそしてさらなるパワーをいただきました。お忙しい中、お時間をいただけたこと、改めて感謝いたします。



2017年9月1日

お医者様、募集中！

こんにちはYokoBOSSです。先日、キャンパスの会はながしま診療所の副院長である清山先生と、宮崎大学医学部教授の盛武先生の研究室へお邪魔しました。はながしま診療所では、医療型の短期入所を行っております。そのため、医師の確保が必要です。はながしま診療所では現在、院長の糸数先生と清山先生のご尽力により、たくさんの方がご利用いただけていますが、それでもまだまだ医師が足りていないのが現状です。重症心身障がい児(者)に、御協力していただけるDr.はいらっしゃいませんか?ご連絡お待ちしております！



2017年8月24日

カボチャの収穫

こんにちは、YokoBOSSです。10a(アール)って、どのくらいの大きさかという、約1000㎡になります。この大きさの土地で、キャンパスの会では今、カボチャを作っています。初めての農業ということもあり、担当者は果たして出来るかどうか気が気でない様子・・・雨の日も風の日も、我が子を見守るように暖かく優しく愛情込めて作ってくれたおかげで、見事! 500個もの立派なカボチャが出来上がり。利用者の皆さまも、暑い中、頑張って収穫をしてくれました。味はもちろんお墨付き。とっても甘くておいしいカボチャでした。

2017年8月17日

災害時マニュアルの必要性

先日の台風、私たちキャンパスの会でも前日からしっかり準備をしていたことで、何事もなく過ごすことができました。YokoBOSSです。さて、昨今、自然災害は大変多くなってきておりますね。地震、大雨・・・事前の準備だけでは、乗り越えられないことも多々あります。こと重症心身障がい児(者)を持った方々に関しては、災害時はより支援が必要となる方も多くいらっしゃるでしょう。今回の「輝けみんなのいのち」のセミナーを通して、「災害時マニュアル」が必要では?と課題が見えてきたところです。備えあれば憂いなし。でも、最後に必要なのは、地域のみなさんの理解と協力。セミナーを通して、「災害時マニュアル」というところも整備していきたいです。



2017年8月7日

ゴボウの事ならキャンパスに！

ごきげんよう、YokoBOSSです。キャンパスの会では障がい者の方が働く場として、さまざまな事業に取り組んでおります。その一つが食品加工。おかげ様で、最近たくさんの受注が入っています。それが、ゴボウのさがきです。その量たるや、驚きの量。月に約4000kg以上の注文を受けています。これはさすがに人の手だけでは間に合わない・・・！そこで購入したのが、ゴボウさがき専用マシン。このマシンのおかげで、なんとかお客様の注文に間に合っているところ。人の手と機械をうまく活用しています。最近のキャンパスの会、とっても大忙しなのです。職員、そして利用者みなさま、みんな本当によく頑張ってくれています。心から感謝です。



2017年7月26日

ヤマト自立センター スワン工舎羽田へ見学に行きました。

こんにちは、YokoBOSSです。前回お伝えしました、ヤマト福祉財団が行っている夢へのかけ橋実践塾。そのヤマトグループが運営している(社福)ヤマト自立センタースワン工舎羽田へ、見学へ行きました。こちらでは、制服や作業着だけでなく、作業靴やヘルメットなど、幅広い種類の衣類などをクリーニングしています。現場で働くみなさんの靴は、汚れていてボロボロに。そんな靴でも、スワン工舎羽田の利用者さんの手にかかれば、とってもきれいな靴に早変わり！丁寧な仕事があってこそその仕上がり。脱帽です。一生懸命に働くみなさまから、とっても力をもらいました！ヤマトグループの取り組み、とても勉強になりました。私たちキャンパスの会にもリネン事業がありますが、何か活かさないかなあ。



2017年7月7日

2017年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラムで講演しました。

こんにちはYOKOBOSSです。ちょっと話が前後しますが、「輝けみんなのいのち」の前日。じつは大阪にいました。大阪の美味しいものを食べる観光・・・ではなく、今回はヤマト福祉財団主催「2017年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム」へ講師として参加。「お弁当・高齢者向け配食サービスに夢を託して」をテーマに講演しました。ヤマト福祉財団の実践塾で、私が塾長をさせていただいている弁当・配食サービス第二期生募集の話もしました。今回は食をテーマにしたフォーラムで、初の試みである試食会には餃子や焼きそば、お寿司やお菓子など16事業所が出店しました。キャンパスの会では、スープやカレーなどを試食してもらいました。自慢ではありませんが、うちのシェフが作るスープやパスタはとっっても美味しいのです！味はもちろん保証付き。参加された方もとても勉強熱心。原価、設置機械など、味のことだけでなく調理方法や運営のことなどしっかりとシェフに質問されていました。障がい者のある方が地域で自立した生活を送るためには、仕事は大事な要素の一つ。みなさまの熱い志に負けないよう「私たちも、もっと精進していかなくては！」と思えるセミナーでした。



2017年7月8日

第1回「輝け みんなのいのち」無事に終了いたしました。

こんにちは、洋子BOSSです。宮崎は日本の中でも一足早く梅雨が明けて、とても暑い毎日です。先日行われた第1回「輝け みんなのいのち」もとても熱い！素晴らしいセミナーとなりました。講師には岡山県にある社会福祉法人旭川荘理事長の末光氏、そして参議院議員の自見はなこ氏のお二人。100名以上の方が来場し、大盛況のセミナーとなりました。末光氏のタイトルにある「あとのものがさきになるとき」。宮崎県では、まだまだ重症心身障がい児(者)を取り巻く環境が整っているとは言いきれませんが、このセミナーを通して、「さきになるとき」がいつか来る—そう感じられるセミナーとなりました。まだまだこれから前進していきます！第2回は9月16日(土)宮崎県水産会館5階で開催されます。みなさま申し込みの上、是非ご参加ください！！

▶ [詳しくはこちら](#)



2017年6月

宮崎県産の「紅はるか」を使った干し芋の開発中！！

エブリィホーミンググループとコラボレーション企画第2弾、都城の農家と連携した、干し芋の研究・開発中です。商品名は「乾いてなんていられない」。宮崎県産の「紅はるか」は「春こがね」を交配・育成され、2007年に開発された新しい品種の芋です。形も良く、蒸し芋にしたときの糖度が高く、とても美味しいお芋です。しかも胃の粘膜を保護し、腸の蠕動（ぜんどう）を促進するといわれるヤラピンが多く含まれているので、お通じが良くなる効果も期待できます。キャンパスの会では、徹底した衛生管理を行い、安心・安全な干し芋を販売する予定です。



2017年5月18日

重症心身障がい児（者）とご家族への理解を深めるセミナー 「輝け みんなのいのち」を開催します

「医療依存度が高い重症心身障がい児（者）の支援にどう取り組んでいくべきか」。キャンパスの会では、今年7月8日から来年2月24日までの6回にわたり、医療的ケアに関する多職種セミナー「輝け みんなのいのち」を開催します。本セミナーでは、各方面の専門家を招聘し、重症心身障がい児（者）とご家族の悩みを知り、支援のあり方を来場者とともに学び、考えます。重症心身障がい児（者）への理解を進めることは「地域での福祉の質を上げる」第一歩となります。受講料は無料ですので、保護者のみなさまや福祉関係者はもちろん、学生や一般の方など多くの方にもぜひご参加いただきたいと願っています。この事業は日本財団の助成によります。

▶ [詳しくはこちら](#)



2016年11月～2017年3月

「野菜ボックス」で宮崎県の美味しい野菜を県外へ

2016年11月～2017年3月、キャンパスの会では、宮崎県の農家が育てた旬の美味しい野菜を詰め込んだ「野菜ボックス」の販売を開始しました。パートナーは、広島県で生鮮スーパーマーケット、夕食材料宅配事業、飲食店事業などを展開するエブリィホーミイグループです。同グループとは、昨年秋に宮崎県産のサツマイモを「大学イモ」に加工販売する農福連携商品を成功させています。その実績を評価され、県内の野菜の選定・仕入れ、加工を一任されました。地元農家・企業・福祉の三者にプラスとなる形で、他県ともつながりながら、私たちは農福連携6次産業化をみなさまと力を合わせ進めていきたいと考えています。



2017年5月

四つの味を楽しめる「宮崎やさいポタージュ」を開発・製造・販売

キャンパスの会のシェフが腕を振るい、宮崎県の野菜を使った「宮崎やさいポタージュ」を開発。2017年1月から製造を行っています。「温めるだけで簡単」「これなら野菜嫌いの子どもも大丈夫」「なにより美味しい」と好評をいただいています。種類は「ニンジン、カボチャ、ジャガイモ、ゴボウ」の4種類。目印は、利用者さんが描いた野菜のイラストを使ったパッケージです。このポタージュスープは、広島県を中心に農福連携を推進するエブリィホーミイグループの飲食店の新メニューにも採用されました。